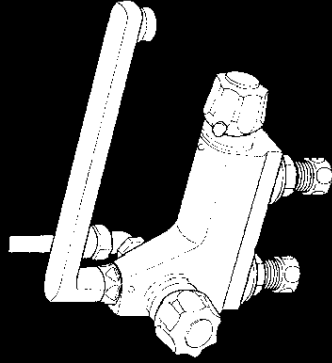


ファミリーシリーズ 台付サーモスタット シャワーバス金具

TOTO

ご愛用のしおり

- このたびは、TOTO台付サーモスタットシャワーバス金具をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。このしおりをよくお読みの上、正しくお使いください。
- このしおりは、大切に保存しておいてください。



もくじ

安全上の注意	1～2
特長・各部のなまえ	3～4
つかいかた	5～6
使用上の注意	7～8
凍結予防のしかた	9
ストレーナの掃除	9
温度調節のしかた	10～11
手入れのしかた	11
故障したときは	12

商品のお問合せはTOTOお客様相談室へ



0120-03-1010

受付時間9:00～17:30(土・日・祝日を除く)

安全のために必ずお守りください

ご使用前の前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

- この説明書では、機器を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性がありますを示しています。

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保存してください。

⚠ 注意

(1)シャワーをお使いになる前に、必ず手で適温かどうかを確かめてください。高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。
(シャワー付)

(2)お使いになる前に、カラン側かシャワー側かを切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。
カラン吐水とシャワー吐水を間違うと、やけどをするおそれがあります。(シャワー付)

(3)水栓の左側は給湯側のため高温になっています。水栓の表面に直接肌を触れないようにしてください。
やけどをするおそれがあります。

(4)熱湯をお使いのときには、カランは高温になっています。
直接肌を触れないでください。
やけどをするおそれがあります。(カラン付)

(5)使用後は必ず温度調節ハンドルの目盛を40℃以下に戻しておいてください。
次に使用すると、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。

(6)高温の湯をお使いの後は、水栓内に高温の湯が残らないようしばらく水を流してください。
次に使用すると、水栓内に滞留した高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。

(7)ハンドルの温度位置を確かめた後、吐水してください。
高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

(8)温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、温度調節ハンドルはゆっくり回してください。
やけどをするおそれがあります。

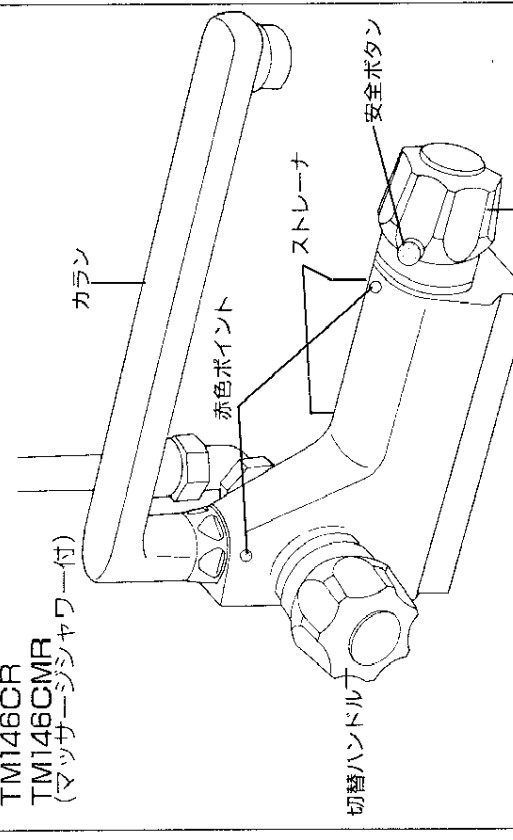
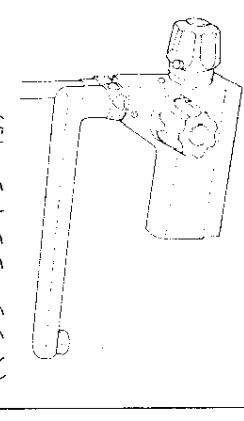
(9)シャワー使用後は、切替ハンドルを必ずカラン側に切替えてください。
切替ハンドルがシャワー側になっているのを気付かずには湯を出すと、やけどをするおそれがあります。(切替弁付)

(10)凍結が予想される際は、配管の水抜操作と水栓の水抜操作を同時に行ってください。
凍結破損で漏水し、家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。(寒冷地用)

(11)ハンドルを急閉止させると、配管から漏水を起すおそれがありますので、ゆっくり操作してください。
漏水で家財などを漏らす財産損害発生のおそれがあります。

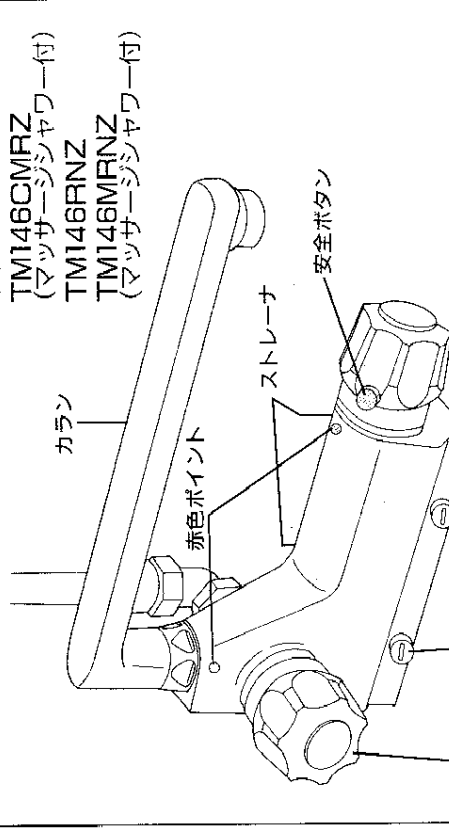
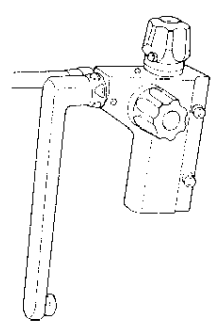
特長・各部のなまえ

1. 混合水の温度をほぼ一定に自動調整しますので、使用中に給水・給湯圧力が変わってもほとんど温度変化はありません。
2. 温度調節ハンドルの操作ひとつでお望みの温度に変えられます。
3. 配管中の砂やごみが機能部に入らないよう、ストレーナを設けています。

<p>一般用</p> <p>TM146CR TM146CMR (マッサーシシャワー付)</p> 	<p>TM146CL TM146CML (マッサーシシャワー付)</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>付属部品</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ストレーナ</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	付属部品	数	ストレーナ	1
付属部品	数				
ストレーナ	1				

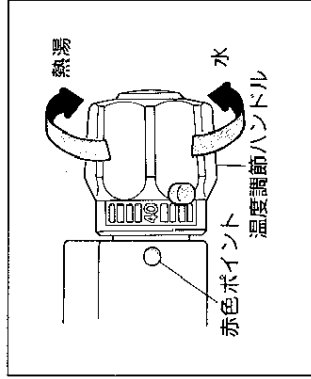
4. 温度調節ハンドルは安全ボタン付ですので誤って熱湯を出すことはありません。

5. 寒冷地用は器具内の水抜きができる水抜コックを設けています。

<p>寒冷地用</p> <p>TM146CRZ TM146CMRZ (マッサーシシャワー付)</p> <p>TM146RNZ TM146MRNZ (マッサーシシャワー付)</p> 	<p>TM146CLZ TM146CMLZ (マッサーシシャワー付)</p> <p>TM146LNZ TM146MLNZ (マッサーシシャワー付)</p>  <p>TM146RNZ、TM146MRNZ、TM146LNZ、TM146MLNZはシャワーホース根元にも水抜コックがついています。</p>
---	---

つかいかた

1. 温度調節



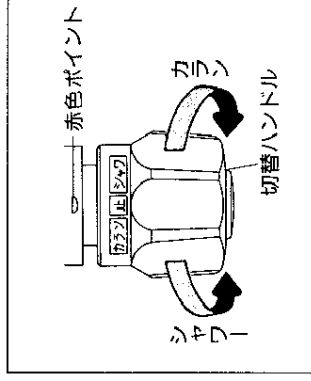
温度調節ハンドルを回してお望みのダイヤルを赤色ポイントに合わせてください。ダイヤルの数字は湯温を示す目安としてください。

2. 安全ボタン



温度調節ハンドルには誤まって熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。ハンドルは目盛"40"付近でロックされますのでこれより高温で吐水させたいときは、安全ボタンを押して回してください。なお、安全ボタンを押して使用したときは、ハンドルを必ず目盛"40"以下に戻しておいてください。

3. 吐水と止水



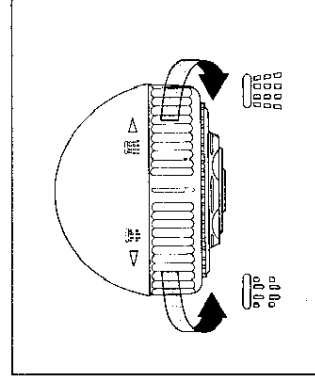
(a)カラシ吐水
切替ハンドルを右へ回すとカラシが吐水します。右へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

(b)シャワー吐水
切替ハンドルを左へ回すとシャワーから吐水します。左へ一杯に回すと吐水量が最大になります。

(c)止水

お湯を止めたいときは切替ハンドルの"止"と赤色ポイントを合わせてください。

4. シャワー切替(マッサー付きシャワー付の場合)

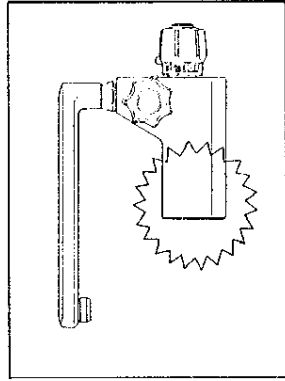


切替リングを左へ回すとマッサー(連続)吐水します。
切替リングを右へ回すとシャワー(連続)吐水します。

使用上の注意

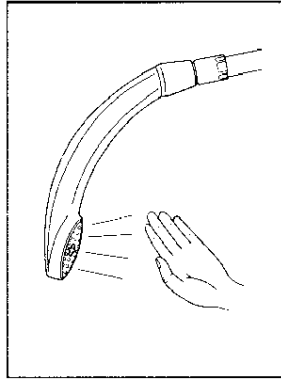
熱湯を使用しますので、火傷等の事故がないよう、必ず次の注意事項を守ってください。

1. 火傷に注意



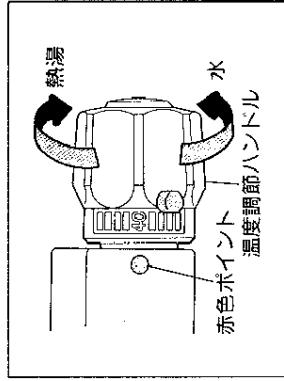
器具の左側は給湯機のため、高温になっています。金具の表面に直接肌をふれないようご注意ください。また、高温で吐水させた後は、しばらく水を出し、高温の残水を流しておいてください。

2. 使用前に湯温を確かめる



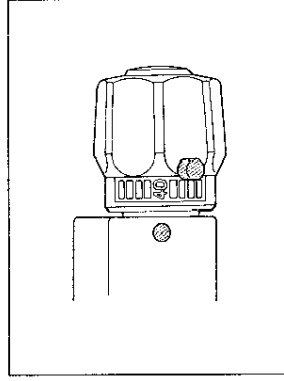
シャワーを使用する場合は、いったん手で湯温を確かめてください。

3. 温度調節ハンドルはゆっくり回す



温度調節ハンドルは、ゆっくり回してください。急に回しますと温度があがり過ぎる場合があります。

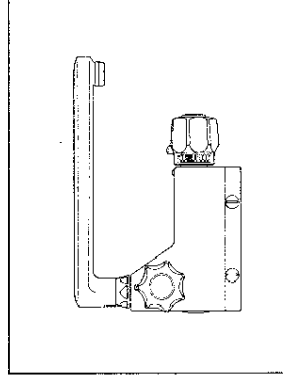
4. 温度調節ハンドルは“40”以下にする



熱湯を使用した後は、必ず温度調節ハンドルを“40”以下に戻してください。

(これは次に使うとき、いきなり熱湯を浴びないためです。)

5. 凍結すると少しの間吐水しません(寒冷地用の場合)



凍結した場合、水抜きを行っていてもストレーナの表面に付着した水滴が凍り、通水後も少しの間吐水しない場合がありますのでそのときは、ぬるま湯であたためてください。

給湯機が瞬間型の場合

1. 吐水量が少ないと給湯機が着火しないことがありますのでハンドルはできるだけ全開でご使用ください。
2. 給水圧力が高く、吐水量が多すぎる場合は切替ハンドルで調節を行ってください。(切替ハンドルを全開にすると吐水量が多すぎる場合は、止水栓であらかじめ流量調節を行ってください。)
3. 混合水栓から吐水する温度より、10℃以上高い温水を供給するよう給湯機側の温度を設定してください。
4. 次の場合は、給湯機が着火しにくくなる場合があります。その場合は、給湯機の設定温度(能力切替式の場合は能力)を少し下げてください。
 - ・ 給水圧力が低いとき
 - ・ 水温が高いとき

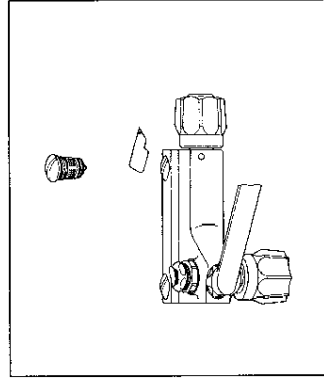
凍結予防のしかた

凍結のおそれがある場合は、同封の「水抜方法」のラベルにしたがって、器具内の水抜きをしてください。なお、ラベルは器具の近くに貼付しておいてください。

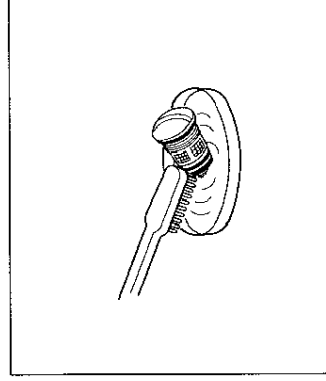
ストレーナの掃除

ストレーナがつかまつると吐水量が少なくなったり、水又は熱湯が出なくなるなど十分な機能が発揮されなくなりますのでときどき次の要領でストレーナを掃除してください。

1. 器具には止水栓が付いていませんので器具手前の元バルブか、または水道メーター横の止水栓を閉じてください。



2. 開閉工具を溝に差しこみ、ストレーナをゆるめてください。



3. ストレーナを取り出し、ストレーナの網目につまみごみをブラシ等で取り除いてください。

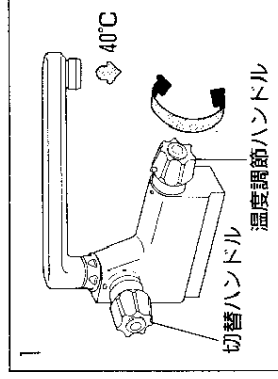
温度調節のしかた

ダイヤル通りのお湯が出なくなったりした場合、次の要領で温度調節をしてください。

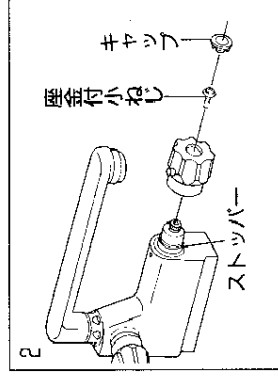
● 調節する前に

(a) ストレーナのごみづまりはないか確かめる。

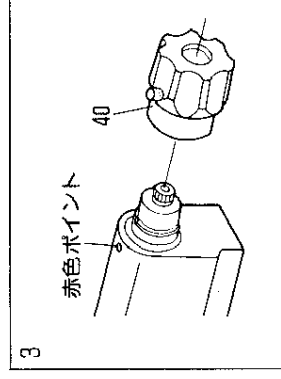
(b) 十分な温度(使用する温度より10°C以上)のお湯がきているか確かめる。



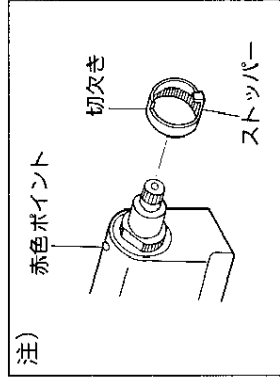
切替ハンドルを開き、温度調節ハンドルの目盛に関係なく40°Cのお湯が出る位置まで温度調節ハンドルを回す。



温度調節ハンドルが回らないよう注意してキャップ、小ねじをはずしてハンドルを抜きとる。



温度調節ハンドルの"40"の目盛と赤色ポイントを合わせてハンドルをはめ、小ねじで固定しキャップをはめる。



注) 温度調節ハンドルを抜きとるとき、ストッパーがはずれたときは赤色ポイントに切欠きを合わせてください。

故障したときは

故障した時の修理は取付工事店にご依頼ください。なおご不明な点がございましたらお客様相談室にお問合わせください。

修理を依頼される前に

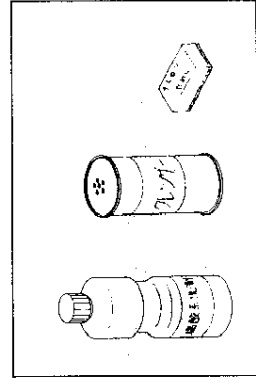
簡単な故障はご家庭でも直せますので修理を依頼される前に下表の点検をしてください。

故障内容	点検箇所	点検項目
吐水量が少ない	①	①ストレーナーのごみづまりはないか ②温度調節は適当か
高温しが出ない	① ②	
低温しが出ない	① ②	
ダイヤルどおりのお湯が出ない	① ②	

※点検方法は「ストレーナーの掃除」、「温度調節のしかた」の項を参照ください。

手入れのしかた

めっきされた器具がいつまでも美しさを保つように、普段は柔らかい布でみがき、ときにはミシン油やカーワックスなどをしませた布でみがいてください。お手入れが十分ですと、いつまでもさびびりせず、美しい輝きを失いません。



なお、クレンザー・みがき粉や粗い粒子を含む洗剤及びナイロンたわしなどはめっき面を傷つけますので使用しないでください。また酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もし使用したときは十分に器具を十分水洗いしてください。